

がんばれ！多文化共生マネージャー

JIAMでは、在住外国人に関わる諸制度や課題について理解を深め、多文化共生社会の進展に対応するための知識の習得、関係機関や部署とのコーディネート能力や企画立案能力の向上を図ることを目的として、「多文化共生マネージャー養成コース」を開催しています。これまで10回の研修を実施し、財団法人自治体国際化協会（CLAIR）が「多文化共生マネージャー（通称タブマネ）」として認定した人が累計で176名となり、各地で活躍しています。今号では、この第10期生で、日本海側と広島で活躍されているタブマネをご紹介します。

がんばれ！多文化共生マネージャー ～石川県小松市での取り組みをはじめとして～

全国市町村国際文化研修所教務部
総括研修主幹 梶谷 茂彦

はじめに

平成22年6月25日で第10回目のタブマネ養成コースを終え、認定証をもらった22名はなかなか個性の強い人ばかりでした。その中でもひととき目立つ存在が、石川県小松市の国際交流協会から来られた綾美寿恵さんです。

研修中から姉御肌でグループを引っ張っていましたが、研修が終わって小松に帰るやいなや、矢継ぎ早に学習会を開催しています。

講演会の開催

まずは、7月23日（金）午後5時半～9時に小松市国際交流協会とこまつ災害ボランティア連絡会の共催により、タブマネ養成コースの講師でファシリテーターを務められた（特活）多文化共生センター大阪代表理事の田村太郎さんを講師に招き、「災害時に困らない外国人との付き合い方講座」を開催。平日の夜にもかかわらず、町内会、消防団、市民、各

ボランティア団体、市関係者など合計46名の参加者があったとのこと。

地域に住む外国人は、近年増加の一途をたどっていますが、日本語の理解が必ずしも十分ではありません。そのため、災害が起これば必要な支援が受けられないおそれがあります。地域の住民の一員である外国人住民を災害弱者にしないためにはどういう取り組みが必要なのでしょうか、また、普段どう付き合っていっていいのでしょうか、ということを考える講演会だったのですが、普段は講演会といえば堅苦しいもので、笑いが無いのが当たり前。ところが、田村さんは関西人の血がそうさせるのか、笑いが絶えない。多方面の仕事をされている経験談も交えての話に、多くの聴衆が夢中になったとのこと。講演が終わるやいなや、市議会議員や市の課長等多くの人が田村さんに駆け寄り、早速、他地域からの依頼も殺到したそうです。

県のタブマネも

続いて、7月24日（土）、25日（日）は石川県国際交流課の小林恵さん（同じく第10期のタブマネ養成コース修了生）が活躍（メインは第8期の素都明子さんとのこと）。県主催により災害時の語学サポーター養成講座を小松市において開催。1日目は講義、2日目は煙、地震、炊き出しの体験等の実践で、外国の方



講演中の田村さん

も多く、二日間で延べ69人が参加されたそうです。

緊急・臨時セミナー

緊急・臨時といえばJIAMの研修の十八番と
思いきや、小松市においてもセミナーを開催
しています。

7月31日(土)の午前10時から午後3時ま
での予定で、小松市国際交流協会の主催で、
(財)浜松国際交流協会の堀永乃さんを講師に
招いて、「地域における日本語教室のあり方・
多文化共生と日本語ボランティア」を開催。

地域における国際化の現状、行政や国際交
流協会を取り巻く状況や課題への理解を深め、
日本語講師・ボランティアが求められる役割
について考える機会を提供されました。



参加者と意見交換する堀さん(写真左)

昼食を交えながらの交流会もありました。
堀さんは、立ちっぱなし、しゃべりっぱなし
の状態だったようです。食事の間も質問攻め
にあってた堀さん。さすがですね、バイタ
リティーがあります。午後は小松市国際交流
協会だけで研修を行う予定が、午前中の研修
が強烈だったあまり、希望者が殺到。結局希
望した人は午後4時まで「堀ワールド」を堪
能され、皆、笑顔で帰って行かれたとか。

次の月曜日からは、早速、先生方の教え方、
カリキュラムに工夫がなされ、また、日本語
のボランティアの中にピアノの先生がいて、
親子を対象に音楽を使ってやるとか、いろい
ろ新しい教室もできているそうです。

富山県でも頑張ってます

近隣の富山県では、11月2日(火)に内閣府
(定住外国人施策推進室)と北陸3県の関係自
治体との意見交換会が開催されたというお知
らせが富山県国際・日本海政策課の村山麻美
さん(同じく第10期生)から寄せられました。

平成22年8月末に政府が出した「日系定住
外国人施策に関する基本指針」の説明があり、
政府の真剣さをひしひしと感じたそうです。
富山県でも、日本語習得の体制整備や子ども
の教育について、これまで以上に取り組んで
いきたいとの思いも寄せられました。

呉の奮闘ぶりもちょっとだけ紹介

広島県呉市で活躍されている、ひまわり21の
伊藤美智代さんからも情報が寄せられました。

日本語教室での頑張りは恒常的ですが、多
くの活動の中で少しご紹介します。文化庁の
「日本語ボランティアのための実践的研修」の
前半を終えて、5回分の活動報告を送ってく
ださいました。また、立て続けに、他地域の
日本語教室と合同の交流活動もされています。



講義をする伊藤さん(写真中央)

他にも各地で頑張っておられるタブマネさ
んが多いのですが、たまたま私がメールで見
つけた女性たちの活躍ぶりをご紹介させてい
ただきました。

時間があれば取材に行きたいのですが、全
国のタブマネの皆さん、私はこんなこともし
ているよという活動があればご連絡ください。

がんばれ! 多文化共生マネージャー